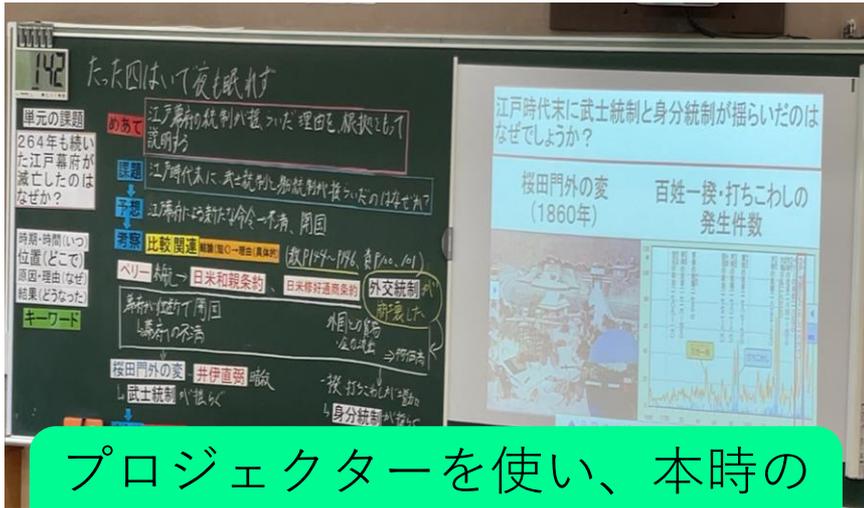


# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

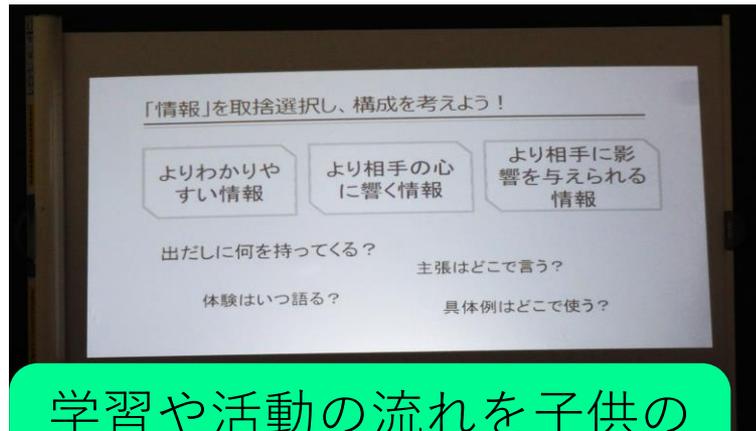
## I 見通し



プロジェクターを使い、本時の課題や資料を提示している。

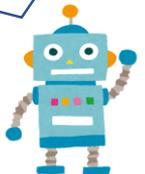


事前アンケートの結果を子供の端末に提示している。



学習や活動の流れを子供の端末に提示している。

全体表示や個人の端末に表示するなど可視化する際の工夫がされています。



# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

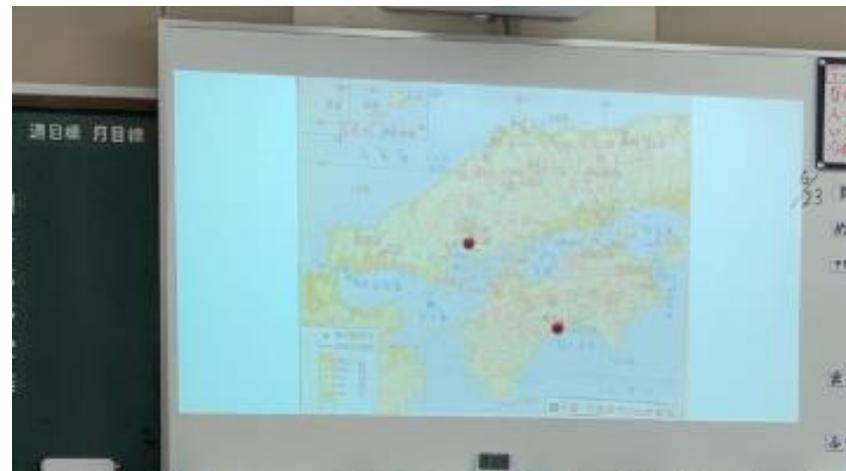
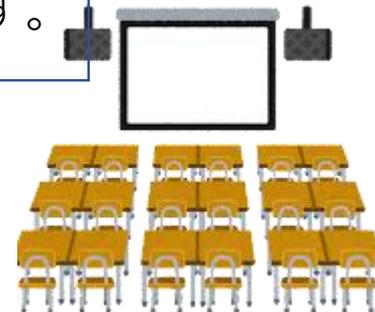
## I 見通し



浮いた船と沈んだ船の2枚の写真を比較し、個人に問いをもたせている。



全体表示や個人の端末に表示するなど可視化する際の工夫がされています。



地図をモニターで全体に映し、比較する2つの地域をマグネットで示しながら共有させている。

## II 解決活動（自力解決）



撮影機能や検索機能を使って自分の考えを修正したり、整理したりする工夫がされている。

自分のスピーチの様子を動画に撮って確認し、より良いスピーチになるよう改善している。



観察・実験の結果を写真に記録し、結果をもとに個人で考察している。



インターネットを用いて情報収集している。

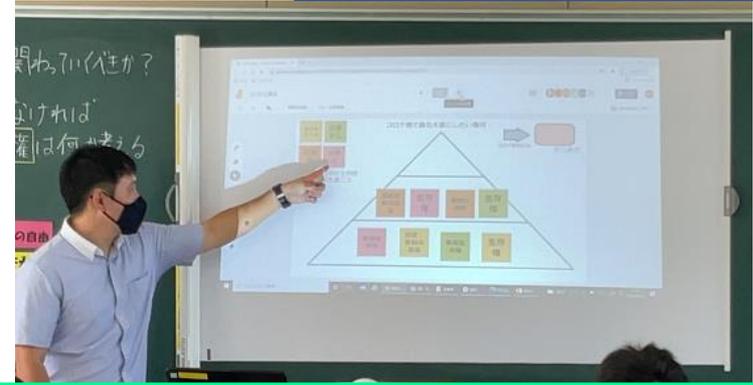
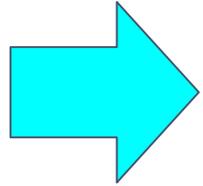
# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

## II 解決活動（自力→集団）

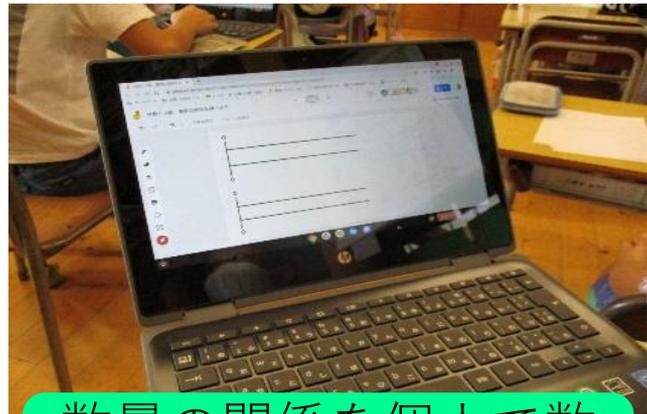
Jamboardや思考ツールを使って思考を整理する工夫がされている。



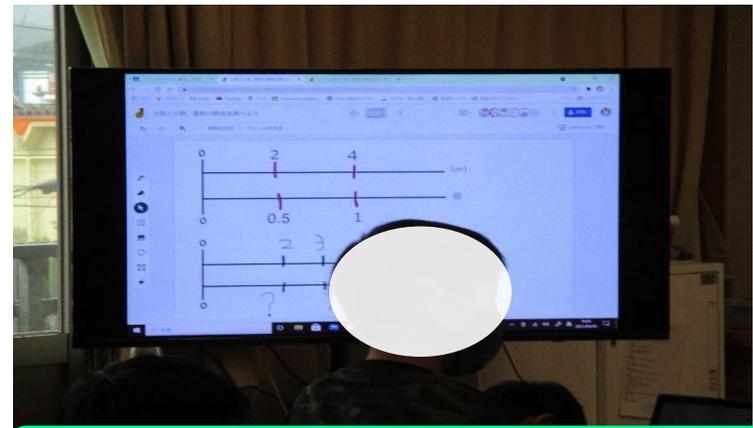
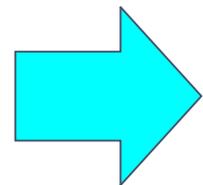
個人の考えをふせんに書き、ピラミッドチャートに貼っている。



個人の考えを見直した後、モニターで提示し、全体共有している。



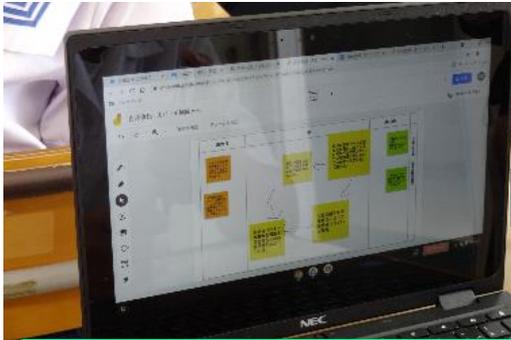
数量の関係を個人で数直線に表している。



個人の考えをモニターで提示し、発表している。

## II 解決活動（自力→集団）

端末を通じて意見交換ができるような工夫がされている。



ジャムボードで思考をまとめている。



プレゼン資料を作成している。



プレゼン資料を見せながら発表している。



思考ツールを使って考えをまとめている。



ペアでタブレットを見せながら共有している。



レポートと根拠資料を提示しながら説明している。

## II 解決活動（自力→集団）

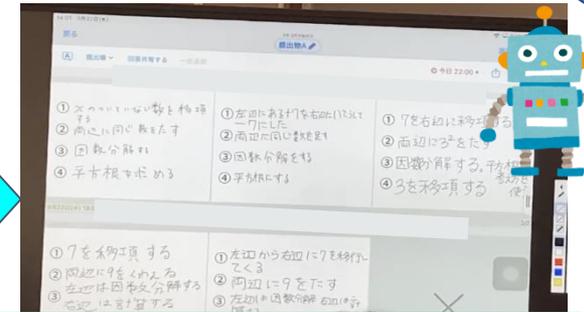
端末に直接書き込み、  
何度もやり取りができる  
工夫がされている



2次方程式の解き方をタブレットに書いている。



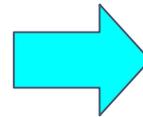
解いた手順をまとめている。



電子黒板で個人の解いた手順を共有している。



筆者の考えに対する自分の考えを上級生に伝えるためにはどのようにまとめたらわかりやすいか考えている。

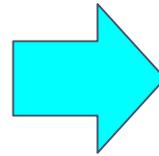


筆者と友達の考えと、今までの自分の考えも踏まえて、自分の考えを再構築している。

## II 解決活動（自力→集団）

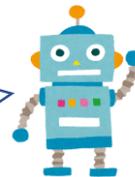


写真に直接力の大きさの矢印を書き込んでいる。



個々の考えをモニターに提示し、共有している。

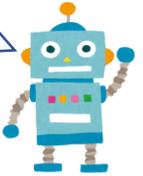
端末の中に根拠資料と自分の考えを整理したものが同時に作成できるような工夫がされている。



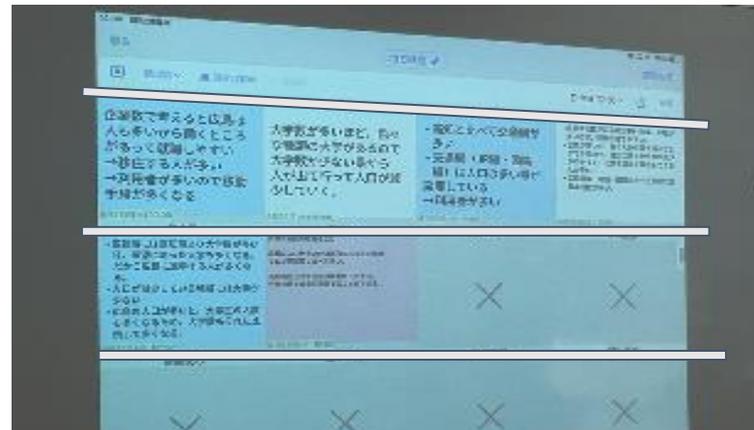
# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

## III まとめ

今までの学びを端末で振り返りながら、コメントを入れたり、自分の考えを伝えたりと双方向型のやりとりができる工夫がされている。



学んだことを活用しながらレポートを作成し、自分の考えを深めている。



今までの学びを踏まえ、個人でまとめを行い、ロイロノートで共有し、コメントを入れている。

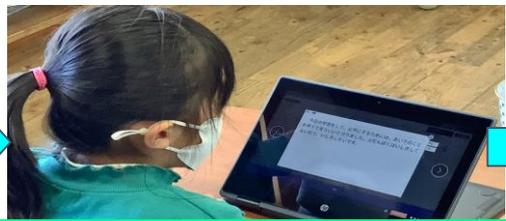
# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

## IV 振り返り

振り返りをすぐに共有したり、子供同士でコメントを入れあい学びを振り返ったりできる工夫がされている。



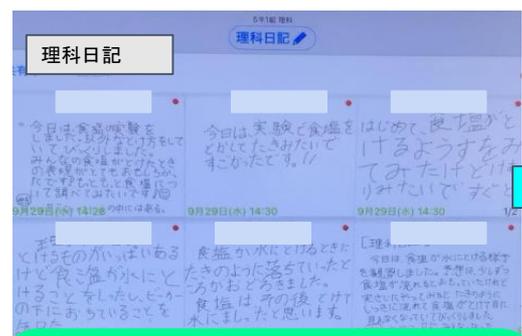
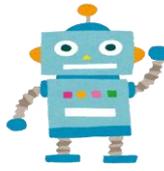
振り返りを端末に記入している。



個々の振り返りを端末で共有している。



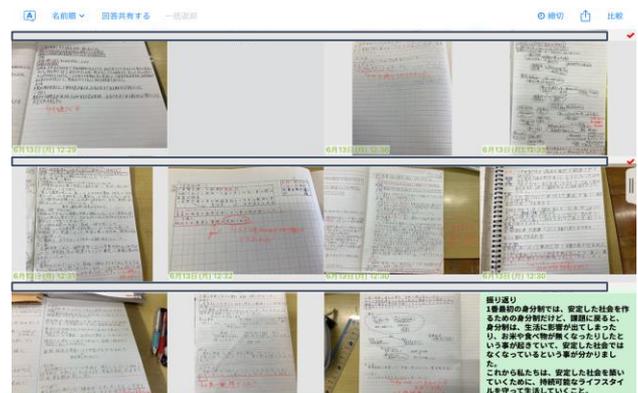
互いの振り返りにコメントを入れて共有している。



振り返りを写真に撮って、モニターで共有している。



個々の振り返りに教師が即価値付けを行い、子供と共有している。



写真に撮ったり、端末に記入したりした子供の振り返りに子供がコメントを入れ、モニターで共有している。

# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

小学校国語4年生「広告を読み比べよう」  
育成を目指す資質・能力

C読むことオ 身の回りの広告を読み比べ、意図や目的に応じた表し方の工夫について自分の考えを持つこと

## 単元のゴール

低学年に向けて5年生が考えた給食の献立の広告を作る



2つの広告（教科書教材）の商品の特長について書かれている言葉や順序に着目し、表現の違いや効果を捉え、作り手の意図や目的を考える。終盤では、本時で身に付けた資質・能力を用いて、高学年向けに作られた給食献立について書いていた事柄について、**相手や目的を考えながら、伝えたいことをタブレット上で並び替える**時間が設定されていた。授業で学んだことをすぐに確認することができる「**理解と表現**」を行き来する効果的な活用の仕方であると言える。



授業中、すぐに操作することができるように教室後方に一人一台端末を並べ、前時までの学びを画面上に出しているため、**端末を使った学習に移るまでの動きが全員一斉にでき、スムーズに活動を始めることができる工夫**がされている。

# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

中学校社会  
第2学年

単元名 武家政権の展開と世界の動き

○育成を目指す資質・能力

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

テーマについて

1

めあて

2

問い・見通しをもつ

3

資料から考える

4

プレゼンし合う

5

まとめ

6

振り返り

7

The screenshot shows a digital notebook interface with a grid of seven items, each representing a step in the learning process. Each item includes a thumbnail image of a handwritten note or a photo of a physical notebook page. The interface includes navigation controls at the top (name sort, share, delete) and a search bar. The items are numbered 1 through 7, corresponding to the steps on the left. Item 7 includes a text box with a reflection on the learning process.

6月13日(月) 12:29 6月13日(月) 12:36 6月13日(月) 12:33

6月13日(月) 12:31 6月13日(月) 12:32 6月13日(月) 12:30 6月13日(月) 12:30

6月13日(月) 12:29 6月13日(月) 12:32 6月13日(月) 12:38 6月14日(火) 21:46

振り返り  
1番最初の身分制では、安定した社会を作るための身分制だけど、課題に戻ると、身分制は、生活に影響が出てしまったり、お米や食べ物が無くなったりしたという事が起きていて、安定した社会ではなくなっているという事が分かりました。  
これから私たちは、安定した社会を築いていくために、持続可能なライフスタイルを守って生活していくこと。

単元の学習を通して、毎時間の振り返りをロイロノートで共有。紙のノートに記入した振り返りをカメラ機能を使って撮影したり、直接端末に打ち込んだりして記録している。教師は、その振り返りに対して、端末上でコメントをし、子どもたちに更に調べさせたいことや、単元課題を解決していくための新たな疑問や気づきを与えている。また、授業中に、生徒同士の振り返りの共有も行い、友達の意見を聞いて、自分の考えを更に深めることができるようにしている。

# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

## 中学校数学第2学年 「データの活用」

統計的問題解決の  
プロセス

問題の把握 問題の設定

データの想定 収集計画

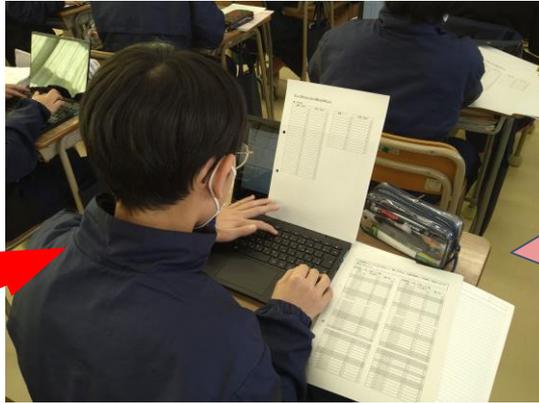
データ収集 表への整理

グラフの作成  
特徴や傾向の把握

結論付け 振り返り

○育成を目指す資質・能力

四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断する力



コンピュータを活用して、代表値を求めたり、ヒストグラムや箱ひげ図を作成している。



- ・数値を入力することで、短時間でヒストグラムや箱ひげ図を作成することができ、グラフの特徴や傾向を考察する時間を保障することができる。
- ・ヒストグラムの階級幅の変更等も短時間ででき、考察する時間を確保することができる。

# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

中学校理科第3学年  
単元名 運動とエネルギー

自然の事物・現象

自然事象への気付き

問題の設定

予想や仮説の設定

検証計画の立案

観察、実験

結果の処理

考察

結論の導出

自然の事物・現象



○育成を目指す資質・能力

力のつりあいの結果を分析して解釈し、重力と浮力の規則性や関係性を見いだす力

◎問題を見いだす場面で 船が浮いた現象と沈んだ現象を写真に撮って比較している。

◎写真に直接重力と浮力の大きさを矢印で書き込むことで、力のつりあいの規則性や関係性について見いだしている。

◎重力と浮力の大きさを書き込んだ写真をグループ全体で共有し、規則性について検討している。

活用のポイント

2つの現象を写真に撮って比較させたり、撮った写真に力の大きさを直接書き込んだり、書き込んだものを友達や全体で共有したりすることで重力と浮力の規則性を見いだせるように工夫している。

# 中部教育事務所管内小中学校のICT活用事例について

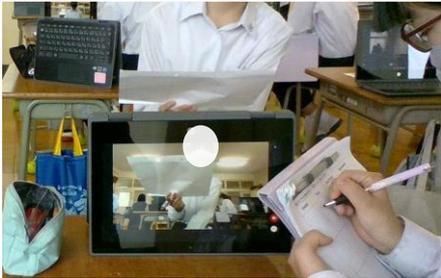
中学校英語第2学年

単元名「Our Project 4 夢の旅行を計画しよう」

単元ゴール：理想の修学旅行について計画を立て、友達にプレゼンする

○育成を目指す資質・能力

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す力



ペアで動画撮影しながらプレゼンし、良かった点と改善点を伝え合う。（ジグソー学習）



プレゼンを聞いた相手の良かった点と改善点をそれぞれ共有のスライドに書き込む。（相互評価）

自分の動画と寄せられたコメントを見て、振り返りをスライドに記入する。（自己評価）

【本時の主な言語活動】  
前時までにグループで協働して作成したプレゼンテーションを用いて、他のグループに発表してコメントをもらう。

動画撮影により、自分の発表をメタ認知して振り返ることができるので、より相手意識を持った発表になり、自己調整する力につながっている。履歴を残せるので、自己の成長の自覚にもつながる。